

平成28年度飯塚市事務事業評価シート

平成29年7月26日作成

事務事業名		オートレース場施設改善事業			外部評価の状況	事務事業No.	14-2		
1. 基本情報									
担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名			
経済部	公営競技事業所	経営管理係	係長	藤田 義明	副所長	浅川 亮一			
施策体系	総合計画	施策(大)	2	2 簡素で効率的な行政基盤をもつまちづくり					
		施策(中)	1	1 簡素で効率的な行政運営の推進					
		施策(小)	3	3 中・長期的な展望に立った効率的な行政運営の確立(財務部以外)					
その他の計画	個別計画								
根拠法令・条例・要綱等	小型自動車競走法、小型自動車競走法施行令、小型自動車競走法施行規則								
事業開始年度	昭和32年	事業終了年度		事務事業類型	ソフト事業				
実施手法	一部委託	補助金等の支給	なし	実施3カ年計画期間					
2. 事務事業の概要及び目的(決算成果説明書と連動)									
概要	オートレース場内の施設を改修することによって公正安全なレースを開催するとともに、来場者に快適なレジャー空間を提供する。								
対象	働きかける相手・もの	オートレース場内施設							
手段	方法・働きかけ(活動指標)	老朽化が著しいオートレース場施設について改修を行っていくとともに、平成27年度に実施した耐震診断結果を踏まえ、今後の施設改善方針の検討を行う。							
意図	対象をどのようにしたいか(成果指標)	入場者に安全、快適な施設を提供するため、適切な改修を行い、今後長期にわたって利用できる施設を整備する。							
3. 活動指標(決算成果説明書と連動)									
指標名	単位	指標の説明(算式等)			前年度実績	本年度実績	次年度見込		
施設改修工事費	千円				10,000	72,879	26,354		
耐震診断委託費用	千円				27,324	—	—		
4. 成果指標(決算成果説明書と連動)									
指標	入場者数	単位	達成目標値	目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込		
		人	300,000		300,000	300,000	300,000		
説明	本場開催時の入場者	方向性	達成目標年度	実績	207,187	203,267			
		維持	毎年度	達成率	69.06%	67.76%	0.00%		
指標		単位	達成目標値	目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込		
説明		方向性	達成目標年度	実績					
				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
指標		単位	達成目標値	目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込		
説明		方向性	達成目標年度	実績					
				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
5. 事務事業実施にかかるコスト(決算成果説明書と連動)									
予算科目・事業	款	競走費		項	管理費		目		施設改善費
	大	施設改善事業費			中	施設改善事業費			
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	区分	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)			次年度予算(千円)		
	正職員	0.80 人 6,675	0.90 人 7,997				1.40 人 12,440		
	任期付職員						人 0		
	再任用フル						人 0		
	再任用短						人 0		
	嘱託職員						人 0		
	臨時職員						人 0		
人件費計(A)		6,675	7,997				12,440		
事業費	直接事業費(B)	93,349	112,486				53,187		
	総事業費(A+B)	100,024	120,483	無停電電源装置入替、開閉式テント改修、南休憩所外壁等改修工事などを実施したため。			65,627		
直接事業費のうちの主な歳出内訳									
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	88,543	120,483				64,739		
	国・県支出金	11,481							
	市債								
	一般財源	0	0				888		

6. 事務事業の事後評価★			
評価項目	評価の観点	回答選択	選択した回答の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価 (上位施策/成果)	行政が行う必要があるか(民間委託や指定管理等は困難か)	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	包括的民間委託業者との契約により、建築物の補修等大規模な修繕については市が実施する。
	特定の個人や団体に受益が偏っていないか	<input type="checkbox"/> 偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 偏っていない	来場者に快適な空間を提供することができるように行う事業であり、最終的に受益を得るのは来場者であることから受益は偏っていない。
	上位施策の目的に対する手段として適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切ではない	オートレース事業を継続するために施設改善は必要である。
効率性評価 (活動量/コスト)	利便性の向上や省力化を図る余地はないか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	100万円未満の施設修繕については包括的民間委託業者が行う。
	受益者の負担(必要性を含めて)は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切ではない <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外	受益者負担を要しない事業であるため。
	類似事業や関連事業等、他に替わる事業はないか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	類似事業や関連事業等、他に替わる事業はない。
有効性評価 (成果/活動量)	目的どおり、期待される成果が得られたか	<input type="checkbox"/> 得られた <input checked="" type="checkbox"/> 得られなかった	予定していた工事および耐震診断を行ったが、直接来場者の目に触れるものではないため来場者増加には繋がらなかった。
	上位施策に対して貢献できたか	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献できた <input type="checkbox"/> 貢献できなかった	工事等を行う事により、最低限の空間をお客様に提供できた。
	次年度以降もこの事業の継続は必要があるか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	オートレース事業を存続させるためには必要である

7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性		
一次評価	⑥コスト・成果ともに縮小	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	包括的民間委託業者と協議し、優先順位をつけて施設の改善計画を策定する。
		次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	今後の施設の耐震改修や走路改修などを踏まえ、施設改良基金の積み立てを行っていく。

前年度評価時の実績(改善の実施等)★ ※上記の改善策に対して実施できたこと、などを記入

平成27年度から包括的民間委託を導入したことから、施設の維持管理は委託業者が行うこととなり、また緊急に改修工事を行うこともなかったため工事費は抑えられた。実施した工事は、当初から予定していた電気室高圧遮断器取替工事および駐車場路面改修工事のみで直接来場者の増加につながるものではないが、安全にオートレースの車券発売を行うためには必要なものであった。また、第1スタンドおよび第2スタンドの耐震診断を実施し、補強が必要との診断結果が出ていることから、耐震化を含めたオートレース場の総合的な施設改善策を検討していく必要がある。

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

施設の維持補修については、委託業者が行う事になっているため、施設の老朽化に伴う工事の実施をおこなった。実施工事内容としては、無停電電源装置入替え、開閉式テント改修及び南休憩所外壁等改修工事などを実施し、安全・快適にオートレースの車券発売を行うために、必要なものである。今後については、耐震診断結果を参考に老朽化した施設の今後の方向性について検討する必要がある。

9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性					評価区分	事務事業の方向性
	拡充	現状維持	縮小	休・廃止		
現状維持		④	②	①	一次評価	⑥コスト・成果ともに縮小
縮小		③	⑤			
休・廃止	⑦	⑥			二次評価	②コストは現状維持し、成果を拡充
	休・廃止	縮小	現状維持	拡充	—	

改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

次年度に予算(コスト)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	包括的民間委託業者と協議・検討し、安全性を考慮し、優先順位をつけて施設改善計画の策定を行う。
次年度以降に予算(コスト)を必要とし、中長期的に実施する改善策	今後の施設の在り方を検討し、耐震改修等を考慮し、施設改良基金の積立が必要である。

評価変更理由	現状のコストは維持し、効率的な改修工事を実施することにより、来場者の満足度をあげるなど成果を拡充させる必要があることから、2次評価を②に変更する。
--------	---